

奈良市財政緊急事態宣言を！

正義を貫く信念と実績



待ったなし
行政大改革

Mihashi Kazushi
三橋 かずし

このグラフは、標準財政規模（総務省が算出するその地方公共団体（市）にとっての標準的な年間経費）のうち、借金返済額（公債費）が占めている割合を示しています。地方公共団体の財政再建は全国的には平成23年度から本格的に行われ、全国中核市平均についても下降傾向で、ほとんどの団体では箱モノ投資の見直しやその他の行政改革で財政状況が大幅な改善が見られます。

これに対して、**奈良市については、全国中核市平均からかけ離れて悪い水準である上、全く改善されていない状態**にあることが分かります。全国平均と比較しても約6%も上回っており、これを奈良市の標準財政規模（標準的な年間経費）に換算すると、年間約50億円も多くの税金が借金の返済のために支出されていることとなります。また、その水準は**全国中核市で57位(ワースト4位)**です。さらに、今後は、新斎苑、ごみ処理施設、子どもセンターなどの事業のため借金返済率は増えていきます。**市民サービスを守り、次代を担う子どもたちへ負担を先送りしないためにも、財政のあり方を徹底的に見直さなければなりません。**

プロフィール

- 【現在】 奈良市議会議員(総務委員会、厚生消防委員会など)
(政党:無所属)
- 【生まれ】 昭和63年(1988年)12月22日(32歳)
- 【学歴】 奈良県立奈良高等学校 卒業
明治大学政治経済学部政治学科 卒業
大阪大学大学院高等司法研究科 修了(法務博士)
- 【職歴】 株式会社南都銀行総合職
奈良県庁行政職(災害対策、行政広報、税務等を担当)
- 【座右の銘】 正しき者に勝利あり



税金が住民サービスに使われていない!

〔一般財源 - (人件費+公債費)〕/標準財政規模
 総務省決算カード(平成30年度)全国中核市の数値に基づいて分析

1 豊田市	86.7%	21 高槻市	59.9%	41 西宮市	53.9%
2 岡崎市	72.4%	22 金沢市	59.5%	42 宮崎市	53.9%
3 宇都宮市	69.4%	23 福山市	59.2%	43 八尾市	53.7%
4 吹田市	67.9%	24 青森市	59.1%	44 福井市	53.4%
5 八戸市	66.8%	25 枚方市	58.5%	45 佐世保市	53.3%
6 郡山市	66.3%	26 東大阪市	58.3%	46 明石市	51.5%
7 川口市	65.3%	27 松山市	58.0%	47 秋田市	51.4%
8 豊橋市	64.8%	28 鳥取市	57.8%	48 前橋市	51.1%
9 柏市	64.2%	29 鹿児島市	57.6%	49 松江市	50.9%
10 寝屋川市	63.2%	30 姫路市	57.3%	50 高知市	49.1%
11 八王子市	62.8%	31 富山市	57.1%	51 那覇市	48.7%
12 高崎市	61.8%	32 越谷市	56.8%	52 尼崎市	48.3%
13 豊中市	61.7%	33 長野市	56.7%	53 大津市	48.2%
14 水戸市	61.5%	34 盛岡市	56.7%	54 呉市	48.2%
15 倉敷市	61.1%	35 甲府市	56.3%	55 和歌山市	48.0%
16 いわき市	60.8%	36 山形市	55.6%	56 高松市	45.6%
17 川越市	60.6%	37 岐阜市	54.8%	57 長崎市	45.3%
18 久留米市	60.2%	38 函館市	54.3%	58 下関市	42.8%
19 福島市	60.2%	39 大分市	54.2%	59 奈良市	42.6%
20 船橋市	60.0%	40 旭川市	54.2%	60 横須賀市	41.9%

◆左表の数値は、一般財源のうち、実質的に住民サービスのために支出することのできる割合を表します。

◆奈良市は、全国中核市の中でワースト2位です。

1位の豊田市と比較すると、奈良市では住民サービスのために支出することのできる割合は、その半分を下回ります。全国中核市の中で最悪水準の借金に加え、貯金に当たる財源もほとんどなく、このままでは、奈良市財政は破綻してしまいます。

※ 財源計算

奈良市の標財規模
756億円 (H30年度)

× 57.3% (平均) = 433億円
 × 42.6% (奈良) = 322億円

差引き = 101億円
の財源が生まれる。

このままでは財政が破綻します

ワースト1位

順位	団体	起債残高
1位	豊田市	48.31%
2位	吹田市	68.19%
3位	高槻市	77.54%
4位	岡崎市	80.68%
5位	宇都宮市	105.58%
省略	:	:
60位	奈良市	266.84%

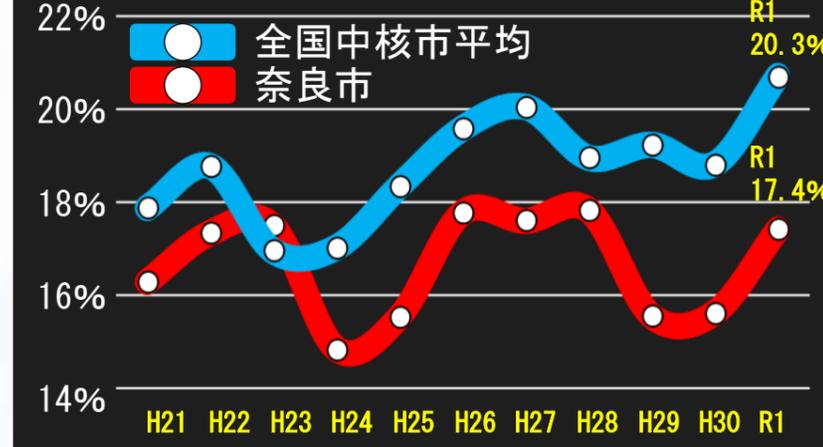
現状は、将来世代への負担先送り。私たちが改善しなければなりません。

ワースト3位

順位	団体	財調基金
1位	豊田市	31.44%
2位	西宮市	23.18%
3位	高槻市	21.90%
4位	福山市	20.21%
5位	郡山市	19.79%
省略	:	:
58位	奈良市	1.56%

災害などに備えて積み立てる基金。奈良市では、ほぼ枯渇しています。

グラフA 教育費 / 標準財政規模
全国中核市ワースト3位



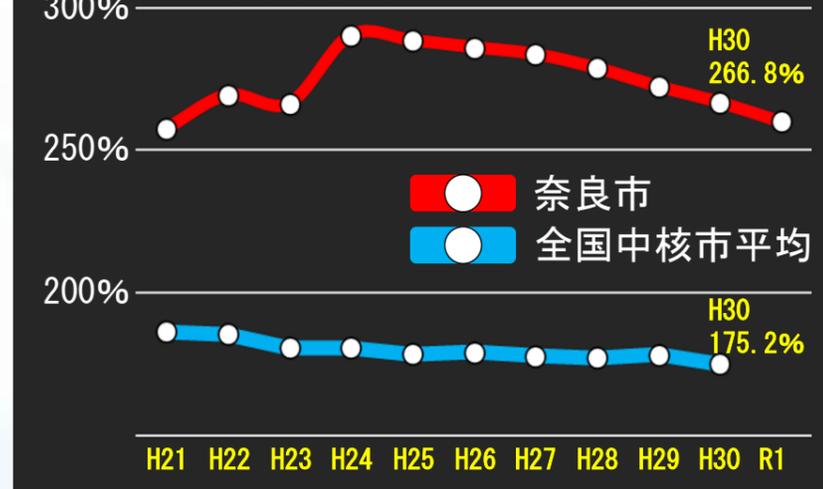
◆グラフA 教育費率(教育費/標準財政規模)について、奈良市と全国中核市平均との推移を比較したものです。

奈良市の教育費(学校教育・社会教育等)の割合は著しく低いことが分かります。奈良市の標準財政規模を考慮すると、奈良市は平均的な自治体よりも年間22億円もの教育費が少ないことになります。

表面でもみたように、平均的な自治体では住民が様々な行政サービスを受けられているにもかかわらず、奈良市民は税金だけは同じように支払っているが、公債費が高止まりのまま推移し、年間50億円分もの住民サービスを受けることができていない状態です。

その結果として、教育費のように、次代を担う子どもたちのための予算さえも確保できていないことが明らかです。

グラフB 地方債残高 / 標準財政規模
全国中核市ワースト3位



◆グラフB 地方債残高率(地方債残高/標準財政規模)は標準的な年間経費の何倍の借金をしているかを示す指数で、奈良市と全国中核市平均との推移を比較したものです。

奈良市の標準財政規模を考慮すると、奈良市は平均的な自治体よりも、700億円も借金が多いことになります。財政再建を放置し、箱モノ投資に突き進んだ影響が出ています。